

前回のあらすじ

ふしぎな謎がどんどんでくる Thrushmoor。

とりあえず「海上に現れる不気味な光」の正体はクソ怪しい（そして強い）ドルイドの棲家の光だということは分かり、息の根を止めたので解決したが……まだまだ謎は多い。

妙な落書きは街中にあるようにみえて、街の中心部と New Chapel の島にはないとのこと。なぜか……？

少女を守れ

前回倒したダリデラという名のドルイドは、メリゼンと呼ばれる人物にヤクを送ったり連絡を取ったりしてた様子。郵便や飛脚など公共の通信手段を使っていたのなら足も着くだろうが、ドルイドには相棒もいれば Animal Messenger もある。連絡を取っていたという以上の情報は掴みようがなかった。ともあれ、メリゼンという名は覚えておく価値はあるだろう。

ドルイドの棲家を後にし、探偵社の前に戻ろうとする一行。すると、小さな女の子が走ってくる。

そして Lyushin を見つけ、名前を呼んでくる。Lyushin 以外のメンツも知ってる様子だが、Lyushin 以外には怯えの表情を見せる。果たして我々が何をしたというのか？

少女の名は Holissa。両親はおらず、兄とともに祖父のもとで暮らしているらしい。

Holissa 「お願いを聞いて欲しいの！」

Lyushin 「どうしたのかな」

Holissa 「お兄ちゃん (Sholn) がいなくなっちゃったんだ」

Lyushin は記憶を失ってしまってることを伝え、「でも Lyushin は心がキレイだから」と伝える。そうなの？

兄がいなくなったのは昨日の晩。昼食で会った時に「仕事が遅くなる」と言ったのち、仕事場を出る所までは目撃例があるが、帰ってこなかった。

少女は、自分が兄を探しに行くので護衛して欲しいと言うが、明らかに危なっかしい。Lyushin が「(リソース無いので) 今日じゃなきゃダメ？」と聞くと少女の目に涙。そりゃそうだ。

とりあえず探偵社にもどって、海に浮かぶ光とドルイドの顛末を伝える。

メリゼンについて伝え、「数ヶ月前、領主がメリゼンというアドバイザーを雇った話がある」という情報が出てきた。

また、誘拐事件について進展をきくと、行政長官のパジェットと連絡が取れてない話が出る。Holissa の兄 Sholn の失踪については初耳だが、まあ昨晚のことだしね。落書きの増加と失踪事件の増加は比例してるようにみえる。

Mayu 「伝承に詳しい人いる？」

探偵社「自分で調べるよろし。公文書の記録庫は行政長官のいる Fort、オカルティックな書物は領主のいる Iris Hill に集まってるよ」

……どちらも封鎖中。攻略しないことには Knowledge チェックもままならないということである。

探偵社を離れ、PT は 2 手に分かれて情報収集フェーズへ。

昨晩は雨上がりの夜で、地面に残った足跡は比較的見つけやすい。Sholn の帰宅の足跡をたどると、人通りがないのに複数人の足跡が固まってる場所を見つける。その足跡を辿ろうとすると、なぜか例の落書きの前で途切れている。後の情報収集により、この落書きはつい昨晚できたものようだ。

近隣の住民に話を聴いても、争ったり助けを求めたりする物音は聞いていなかった様子。だが、落書きされた壁の近くの家の植木鉢が割れていたり、落書きの近くの地面に砕けたビンのかげらを見つけたり、何かが起こっていることは確かだ。

また、聞き込みの結果、Sholn の目撃例も「足跡が入り乱れている地点」を境に途絶えていることがわかった。

Lyushin があらためて Knowledge(Forbidden Lore) をすると、その落書きは「なにかをした後の名残」であるような気がする(= なにかをするために描いたのではない)。

付近で見つかったガラス片はビンの欠片であると推測し、ドルイドのねぐらで見つけたクスリが関係あると推理。とはいえ、飲んでみるのは怖い。

調査を終え、夕暮れの道を歩いていると、なぜかマップが突然遭遇モードに。

身なりの良い男 6 人が路地裏から現れ、うつろな表情で「今日は獲物が大量だぜえ」と言いつつ襲ってくる。

ひとり Holissa につかみかかるが、即座に反応した Mee と Mklwh の攻撃で落ちる。

Lyushin は 3 人を幻影の壁で無力化しつつ、1 人は非致傷ダメージで生け捕り。インヴィジビリティを使った 1 人が逃げ延びてしまうが、透明化に対処する手段が少ないゆえに仕方ない。Holissa が無事だけでも上々だろう。

不審人物たちは妙な聖印を帯びていた。

Forbidden Lore に詳しい Lyushin は看破する、これはハスターのシンボルだ。……ハスターとは一体？

また Lyushin は思い出す、かつて Thrushmoor 南西の酒場ですれ違った男たちに似ていたことを。1 人は生かして捕らえたが、残り 5 人は惨殺死体。スプラッタな光景に怯える Holissa を Lyushin はうまくなだめる。

こんにちわ Fort Hailcourse

捕虜としたハスター信者を探偵社につれていくと、まず村の人間ではないことがわかる。

Intimidate で尋問するが、なぜか第三者の Intimidate との達成値比較となる。どうやら、彼の親玉への恐怖心が勝ってしまっており、威圧のしようがないようだ。Mayu がチャームをかけ、殺さない保証をすることでようやく喋り始める。

Mayu 「なぜ襲った？」 → 「ハスター様への生け贄をあつめるため」

Mklwh 「どこに連れてってる」 → 「Fort もしくは Iris Hill」

Youl 「生け贄を揃えると何が起こる？」 → 「わからない」

Mklwh 「連れてったらずくにサクッてる？」 → 「数日経ったら」

Mayu 「だれの命令で？」 → 「メリゼン」

その他、街に増えつつある落書きの正体も判明する。

どうやら、ハスター信者がハスター様と Star Stela の力を借りて短距離のポータルを開く事ができ、その痕跡として謎の都市の落書きが残るようだ。

Iris Hill の近辺には Star Stela はないようにみえるが、どうも地下にあるらしい。残念ながらハスター信者でなければこの転移術は使えないらしい。

魅了呪文の影響下にあるとは言えペラペラと喋ってしまったため、捕虜は「ここまで喋ってはハスター様に魂を苛み殺されてしまうかもしれない」と怯える。また PT にも Lawful が数人おり、公平な法の裁きを受けられるようにする以上の譲歩はできなかった。仕方ないね。

翌日、生け贄が送られている建物の 1 つである Fort Hailcourse に向かってみる一行。

しばらく物陰から入り口を観察してみると、Fort にはちらほら来客があるが、すべて傭兵の門番に追い返されている様子。門番は最近雇われた傭兵のようだ。

PT はこっそり入る手段を模索する（井戸づたい、小さくなって矢狭間から入る、etc）が、DM は正面突破を推してくる。

ついでに Iris Hill も見に行ってみる。こっちも閉鎖状態で護衛が多いが、こちらは Savage な入れ墨をしている。

正面突破しかないと諦め、とりあえずは通してもらうよう話をし、決裂したら霧を張りつつ門を破る算段をとる PT。

準備を整えて入り口に行くと、市長助役の女性セシル氏が矢狭間越しに対応する。

セシル氏曰く、現在は誘拐事件の対策に追われて厳重警戒状態となっているという。協力を申し出ても固辞、こちらの相手をする暇すら惜しいと言い張る。

説得するが、向こうの言う話もっともらしく、平行線。不眠不休で対応してるらしく痛ましい様子。顔色も悪く、手には傷も。そして Sense Motive 的にも本当っぽい。

しかし、決裂は決裂、他に侵入するアテもない。当初の予定どおり戦闘開始へ。

霧を張り、扉を打ち壊すと、中には恐ろしく顔色の悪い傭兵たちがズラリ。どうみてもアンデッドである！ さらに奥からは複数の犬の鳴き声。

アンデッド傭兵の攻撃はおそろしく痛く、なぜか耐性も多い。突貫した Mklwh は敵中にありながら早々に無力宣言。しかもさらにタチが悪いことに、次々と援軍が。

けしかけられた犬（Riding Dog 相当）はお腹ペコペコだが、残念ながらアンデッド傭兵には不慣れ

だった様子。超自然的な不快感を怖がって、なかなか部屋には入れない。それでも敵の物量と力量ともにすさまじく、徐々に押されつつある状況。

しかし Lyushin の Glitterdust が複数の傭兵を長く無力化し続け、Axe と Mklwh(とその下の人)は勇敢に前線にとどまり、Mayu の Channel、Youl と Mee の Cure 攻撃も功を奏し、徐々に削りつつある。

目を潰されたアンデッドが右手の扉を開け、「ウスノ口の半魚人ども加勢しろ！」と叫ぶ。しかし再び閉ざされた扉を見たのか、奥からは「一度体勢を整えるか」という日和った声も聞こえる。DM 曰く 3 戦分のエンカウンターだったらしいが、最終的に死者なしで殴り勝ち、一旦バリケードを築くことでこちらも回復の余裕を得られる。

壊れた入り口の扉を住民に怪しまれないよう、Lyushin は Pigment で新しい扉を見事に書き上げた(おかしなデザインにしそうになったけど耐えた)。

砦の入り口はどこか塩水臭い。さきほど声がかかった半魚人の匂いだろうか？

Winter さんから差し入れられた Wand も使って傷を癒やし終えた PT は、塔をのぼり、砦の城壁の屋上に出る。

外からも見えていたが、屋上には 2 つのペントハウスが立っており、Axe が Detect するとそれぞれ 3 人・2 人の反応。

それはそれとして Axe がドワーフの勘で屋上の石床の一部に違和感を覚えるが、くわしく検査しようとするエンカウンター。ウーズ (Id ooze) が薄く延びて日向ぼっこしていたのだ。

呐喊した Mklwh は組み付かれて酸と締め付けで大ダメージを負い、鎧を溶かされ始める。さらに殴りかかった Axe の斧が溶けてしまう。

とはいえ分裂能力を持たない Ooze、普通に殴り勝つが、戦闘音を聞きつけて周囲の小屋からおかわり登場。1 人はアンデッド傭兵、1 人は半魚人 (Skumっぽい)。

半魚人は出掛けに Lightning Bolt を放ってくる。さらに傭兵の剣もバチバチと雷光を放っている。どうやら Sorcerer のようだ。

脅威度を知っている傭兵に気を取られている間に、半魚人は広いフィールドを逃げながら Lightning を放ち、こちらのリソースを削ってくる。アンデッドは Grease で剣を落とされたり転ばされたりしながらも、Slam で殴るがかなわず。ようやく追いついた Lyushin の Color Spray で半魚人は 2 ターンにわたってスタンさせられたのち、離脱して城壁を飛び降り逃げようとした所を機会攻撃で斬殺された。

さすがは Sorcerer、待望の Cha+2 のヘッドバンドを持っていた。とはいえ PT には珍しくも Cha が第 1 アビリティの人も多く、まだまだ足りない。

東側のペントハウスからの増援はない。逃げたか？

西側のペントハウスの搜索を始めるが、ひどく荒らされている。血が飛び散り、鏡が割れ、ベッドの上には血とともに老夫婦の肖像が置かれている。

そこから 1 階に降りると、もとキッチンだったような部屋。吊るされた大釜のなかに人間の骨が入っている (Skum は人間を食べることがある)。もしかして先程の老夫婦がお料理されてしまったのだろうか……？

未だ捕虜は見つからず、セシル氏も逃げたっきり。
街中というロケーションではあるが、強行突入した以上、休憩を挟むことはできない。
はたして、PTは無事この砦を攻略できるのか……？